

未来へ伝えようお家の味 ふるさと つないでいこう郷土の味



食育には健全な食生活を身につける事の他に、日本の伝統の味を子どもに伝える目的があります。郷土料理は、各地域の産物を上手に活用して、風土にあった食べ物として作られ、食べられてきました。歴史や文化、あるいは食生活とともに受け継がれています。

下関に伝わる郷土料理



写真：農林水産省（うちの郷土料理）

ふく刺し

けんちょう

いとこ煮

わかめむすび

材料（4人分）

かきちしや(サニーレタス)	120g
ちりめんじやこ	16g
味噌	大さじ1
砂糖	大さじ1と2/3
酢	大さじ1/2強

作り方

- ① ちしゃは洗って手でちぎり、さっと水に放してあくを取り、水気をとる。
- ② ちりめんじやこを茹でて、冷ましておく。
- ③ ①と②を調味料である。

ちしゃなます



ふるさとの味を
伝承しましょう



戦時中、中国東北部（旧満州）に「ちしゃなます」という山口県人会がありました。新鮮なチリメンチシャに酢〆や焼いたイワシ、サバなどを入れ、酢味噌で和えた清々しい思い出の味が、遠地の人々に故郷を偲ばせたのでしょう。チシャは包丁で切ると味を損ねるので、水洗いしたら必ず手でちぎり、食べる直前に和えるのがコツです。イリコ（煮干し）を香ばしく炒ってすり鉢ですし、味噌とあわせることもあります。

（第3次下関ぶちうま食育プランより）

わが家に伝わる お 家 の 味



お 家 の 味



みなさんは「これがわが家の味！」という料理や思い出はありますか？

故郷を離れ久しぶりに口にすると、家族の思い出や感謝の気持ちがあふれてきます。あなたにとっての「わが家の味」を楽しく作って、大切な人と味わってみましょう。そして、次世代につないでいきましょう。

